

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社 今井工務店）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			雇用、教育、昇進、福利厚生など雇用条件や労働条件に差別しない体制を構築し、社長が積極的に関与している。 長野県保護観察事業所に(法務省)に登録している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。総務部を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			元主週休2日制に移行し、年間の労働時間を約1600時間としている。1年間の単位変形労働時間制を採用している。総務部門で週休勤務、時間外勤務、年次有給休暇取得状況を確認し、対応策を検討している。								8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			外国人労働者は現在当社には就業はしていないが、下請け業者に在籍し使用する場合は、労働条件に差別しないことを厳守している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			現場代理人を中心に作業所の安全確認を行うと共に、社内安全衛生委員会を設置し、毎月現場へのパトロールを実施し、指導及び注意喚起を行っている。また、毎月安全会議で、指導及び注意喚起を行い、全社員に周知するようにしている。			3					8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			メンタルヘルスに関する方針と計画を算定している。			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			65歳を定年としているが、その後も出来る限り働いてもらえる環境を整えている。地域の特性（観光産業）を生かし季節雇用（春～秋まで）を可能としている。女性技術職・技能職の雇用及び産後の会社復帰を積極的に支援している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			従業員の力量アップのため、現場内でのUJIを実施し、必要に応じて外部講習機関を利用、必要資格の取得の奨励を行っている。2026年4月にユースエール認定を取得した。				4	5.5			8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			「社員の子育て応援宣言」(長野県)に登録している。同一労働同一賃金にて管理している。					5.5			8.5		10.2 10.3								
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			健康づくりチャレンジ宣言(2018.08.02)[全国健康保険協会長野支部]に登録。健康経営優良法人2026(中小企業法人部門)認定[日本健康会議]。信州ACEプロジェクト(長野県)に登録している。			3					8										
11	環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			現場で発生する産業廃棄物はマニフェストで処分状況を管理している。長野県産業廃棄物3R実践協定を締結している。廃棄物の種類、量を把握し削減計画を策定している。											11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			自社のエネルギー使用量(燃料、電力)を把握している。2024年6月にエコアクション21を取得した。							7.3					13						
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			温室効果ガス排出量の把握。再生可能エネルギーの活用により電力使用の削減計画の策定。							7.2 7.3					12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			ディーゼル建機及び車輛の排出ガス浄化技術(尿素SCRシステム)搭載車への移行を随時行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4						

項目 番号	テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			工事施工場所周辺の生物の状況を把握し、発注者や地元住民との調整を行い、悪影響が生じないように対策を講じ、豊かな生物多様性の保全、自然との共生に配慮している。							6.6								15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			長野県産業廃棄物3R実践協定を終結している。社内文書はコピーの裏面などの再生紙を利用している。											13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			公共水道使用量の推移を把握し、利用効率改善に向けた取り組みを行っている。自然湧水・地下水の利用。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			2024年4月にエコアクション21を取得した。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			長野県のホームページ内で産業廃棄物処理計画及び実施状況報告書を開示している。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			現場内で利用している、気象観測システムの電力は、太陽光発電を利用している。							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			現場で発生する支障木の伐採木等は、有効利用（薪・焚き木）するよう取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			コンプライアンス厳守を経営方針に掲げ、社内浸透を図っている。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			不正競争行為を含む行動規範の整備と社内会議にて指導、周知を行っている。建設業法、独禁法に則り業務を遂行している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			知的財産を適切に管理し、保護に努めている。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			社員の情報管理ルールを社内研修や会議を通じて周知徹底している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			紛争鉱物を取り扱う事業は未実施。（今後該当する場合は確認する）																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			元請及び下請負契約者、取引先との協議会や対話を通じて人権侵害防止、ハラスメント、贈収賄防止等についての認識を共有し、防止のための取り組みを行っている。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定。			3				8	9	10								17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			製品及びサービスの提供に関する要求事項を満たすために必要なプロセスを計画し、実施し、管理している。(ISO9001:2015)			3.9									12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。(ISO9001:2015) 製品の引き渡し前に最終検査、社内検査を実施している。									9									
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			環境負荷の少ない建設機械を使用し施工を行っている。						6						12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			自然災害等の問題が発生した場合に事故防止や復旧工事に直ちに対処している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	地域・社会貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			施工は屋外での仕事のため、油等の土壌汚染や水質汚染には注意して施工を行っている。工事の内容により事前の説明会や地域への影響の把握を行い改善に努めている。				4					9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地域イベント(祭りなど)に積極的に参加している。消防団活動協力事業所(総務省消防庁)認定取得し、活動に対し長野県知事表彰を受賞した。				4							11			14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			工事で使用する資材は地元または県内で生産されているものを優先的に利用している。								8	9		11	12	13					
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			経営コンセプト(経営理念、品質方針)、経営目標、環境分析、行動計画、品質目標を明確にし、全社員に周知している。(ISO9001:2015)								8	9								17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			社内会議、社内報や掲示物等で法令遵守の重要性を全社員に向けて発信して周知している。																16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			担当者(担当役員)を明確にし、体制を整えている。																16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本 (必須)			事業開始前に地元・地権者等には現場説明会の開催し、工事説明を行って意見交換、調整をしている。また、工事中の必要な情報については通信報等で開示している。																16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			作業所単位で毎朝リスクアセスメント危険予知活動を実施し、リスクの洗い出し、評価、対策を実施したうえで作業を行っている。																16		
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			地域に根付いた企業を目指し、地域の方の声を大切に貢献に努めている。会社周辺の環境整備(草刈・ごみ拾い)など、CSR活動についてホームページで記載している。																16		
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			有事の際に備え、安全管理体制を確立し、緊急時の連絡体系を整えている。									9		11		13 13.1			16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			後継者候補がいる。後継者候補に今後の事業継承内容を指導していく。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定